

# 修学旅行 de 職業探索

2024/5/13  
キャリアナビゲーター  
渡邊江李賀

## Mission.2

### 横浜をはじめとする中華街で発展した3つの刃物を使った仕事を突き止めよ

中華街(チャイナタウン)は、横浜だけでなく世界のあちこちに存在していますが、日本の中華街の成り立ちには、大きな特徴があります。

東南アジアやアメリカでは、第一次産業に携わる人たち(農業、林業、漁業など)が居住していることが多かったようですが、日本の中華街では、**サービス業**をはじめとする、**第三次産業**に携わる人(商業、金融業など)が多かったという特徴があります。

例えば、横浜開港の当初は、

- ・貿易商の通訳
- ・大工
- ・印刷技術者
- ・西洋家具職人
- ・番頭役(組織のトップを支える役割の人)
- ・レンガ工

として多種多様な商いの現場で活躍する人が多かったようです。

第三次産業

第一次産業



明治維新後、貿易が横浜以外でも行えるようになってからも中華街は残りましたが、技術を生かした

(① ) (② ) (③ ) という3つの職業が代表的なものとなりました。いずれも刃物を使う職業であったことから、総称して「**さんばとう**」と呼び、この職業には営業許可が与えられていました。つまり、横浜中華街は、最初から現在のような中華料理店がひしめきあうグルメタウンではなく、認可された3つの職業のうちのひとつが時代のニーズにマッチすることで残り、発展していったといわれています。



参考: 横浜中華街発展協会 同組合 <https://www.chinatown.or.jp/feature/history/vol05/>  
横浜中華街をもっと知ろう <https://www.ko-cho.com/blog/contents/1507-04/>

①~③に入る職業は何でしょう? 正解は、次回のキャリアナビ通信でお知らせします!

ヒント

3つの職業は、それぞれこれらの刃物を使います



地域の歴史や産業の変遷は、職業や仕事の変化との関わりが大きいです。職業そのものを調べたり学んだりすることも大切ですが、地域の歴史や産業と職業の関わりについて調べてみると新しい発見があるかもしれません!